

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 年 月 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2870700610		
法人名	有限会社日本健康管理システム		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	〒654-0035 神戸市須磨区中島町2-5-10 (電話) 078-739-4959		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2008年5月16日	評価確定日	

## 【情報提供票より】(20年4月10日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 7月 13日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算	4.2人

## (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~ 1.2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要(4月10日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名	
要介護1	3名	要介護2	2名			
要介護3	2名	要介護4	1名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	83歳	最低	71歳	最高	95歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	野村海浜病院
---------	--------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・地域との関わりを大切に、さらに地域社会の拠点を目指す理念を掲げている。これまでの職員の努力により、日常的な馴染みの関係性はできつつあるので具体的な実践を深めることが期待される。運営推進委員会での検討が考えられている。毎日の生活では1ユニット制を活かし、利用者同士が和気あいあいと過ごせる雰囲気づくり、職員と利用者間の家庭的な会話の充実に配慮している。利用者一人ひとりの特性を良く把握理解したうえで、常に寄り添い丁寧な言葉かけに努めている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	・地域での交流の機会を積極的に作り、参加していく具体的な取り組みについて検討している。また職員、管理者の提案により勉強会を実施している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	・全職員で取り組み、職員個々に新たな気づきを得られた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	・ホームの行事や利用者の状況など報告が主である。出席者として地域代表者である自治会役員の他に今後は婦人会からの出席も得られるので、地域の情報を得ながら交流の機会を増やしていくことをホームは期待している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	・電話や、家族来訪時の個別の時間を利用して、話し合う時間をつくっている。日々の様子を丁寧に伝えることで関心を持ってもらい、対応についての相談をする場合もある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	・地元の人とは日常的に挨拶や声かけをしており、顔見知りの人や馴染みの関係ができつつある。ホームとしては、少しずつではあるが協力も得られ、地域の関わり的重要性を実感し、これからも大切にしていきたいと考えている。課題としては、地域の行事や活動の情報量をより増やしていくことで、交流の機会を広げていく工夫が必要といえる。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・地域の人たちが気軽に集え、地域との連携を密に、地域社会の拠点となるよう努める独自の理念を作成したところである。		・ホームは、地域の関わりをさらに深めこれからも大切にしていきたいと考えている。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・新しい理念の具体的な実践にはいたっていない。まずは全職員が周知し具体的に進めていくことを話し合っている。		・近隣に対する日々の挨拶や丁寧な声かけを継続しながら、理念の具体的な取り組みへの実践に期待したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・こちらから積極的に挨拶をし、声をかけてきた結果、顔見知り的人也増え馴染みの関係ができつつある。地域の行事への参加も限られているため、今後は情報の収集に努め出向いていく機会を増やしていきたいと考えている。		・地域交流には地域の会のメンバーとして認知され、行事案内も受け取れる関係づくりをしてみてもどうか。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価は全職員で取り組み、その都度新たな気づきが得られた。リーダーが中心となり、日常的に評価を活かすべく職員へ働きかけ、共有に努めている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・ホーム関係者以外は、近隣住民や地域包括支援センター職員、病院のソーシャルワーカーが出席している。ホームからの報告が主で、次第に地域の参加者から意見が出されるようになった。</p>		<p>・今回の評価結果を会議に投げ掛け、改善に向けた意見を出してもらうなど一緒に考える機会としてみてほしい。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・ケースワーカーとのやりとりやボランティアの要請をお願いすることはある。</p>		<p>・ホームの実情を伝え、知ってもらう働きかけがさらに積極的に必要と思われる。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月の報告以外に、個々に日常的に電話や手紙で伝えている。家族来訪時には、写真を渡したり、個々の状況をできるだけ丁寧に伝えるよう努めている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族が遠慮がちであるので、来訪時には積極的に声をかけ、話してもらおうよう努めている。さらに利用者の日常に関心を持ってもらえるよう出来るだけ詳しく様子を伝えている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・異動はほとんど無い。異動があった場合は、利用者の様子に応じて馴染みの職員が寄り添い、不安を取り除く配慮をしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・毎年1人は外部研修を受講できるよう勤務調整している。内部の勉強会は職員の要望と、また管理者の判断で随時行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・地域の同業者との交流は無いが、法人内の4つのグループホームとの勉強会と交流を通じて、質の向上に努めている。</p>		<p>・地域の同業者との外部交流の機会をつくるのが望まれる。</p>
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・ホームの状況を優先するのではなく、本人の生活環境や習慣等を出来るだけ反映させたいので、徐々に馴染んでもらうよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者と職員が対等な関係になるよう気をつけている。利用者の年齢に近い職員が多く自然な関わりができています。調理や味付けなどは教えてもらうことが多い。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・一人ひとりのホーム入所以来の日常の様子から特性把握している。希望や意向の少ない人には表情から汲み取り、丁寧に声かけをしてじっくり待つよう努めている。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・普段の会話や本人からの聞き取りを前提に、家族や全職員の意見を聞き、介護計画をまとめている。介護計画の内容は本人の話す言葉で表すようにしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・計画は固定化せず、状況に応じ柔軟な見直しに努めている。連絡帳を活用し些細な変化にも注意している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>			

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>			
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>			
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>			
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>			

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>			
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>			
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>			
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>			
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>			

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>			
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>			
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>			
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>			

 は、重点項目。